

いる。育児、就労、男女共同参画等多面的な観点から調査・研究していききたい。

### 学童農業体験事業 拡大へ

**問** 幼少期からの食農教育が重要な課題となっているが、本市の取り組みは。

**答** 食農教育は、地域特性や健康、学校と地域の交流といった面からも重視すべきと考えている。現在小学校、保育園三十五校で実施している稲作などの学童農業体験事業を、平成13年度では幼稚園、中学校も含め五十校に拡大していきたい。



### 市立病院の 経営改善に向けて

**問** 市立病院の 地方公営企業法の全部適用による経営改善状況と評価は オーダリングシ

ステム導入により期待される効果は。

**答** 平成12年度末で六億四千万円程度の単年度赤字を見込んでいるが、例年に比べ四億数千万円改善されており、経営能力と医学的知識を兼ね備えた病

院事業管理者の手腕を評価している。事務処理の迅速化や単純ミス防止、患者の待ち時間短縮などが期待できることから、13年度は入院分、14年度以降は外来分で年次的に導入していきたい。

# まちづくり



### 公共交通機関の バリアフリー化推進を

**問** ノンステップバス増車のために、オムニバスタウンの指定を受け、国の支援体制を確保しては。

**答** 全国で八都市が国の指定を受けている。本市でも市民の利便性向上や障害者・高齢者の社会参加の基盤づくりといった観点から、公共交通機関の役割を重視しており、計画策定の前提となるバス事業者からのヒアリング等を終え、現在、国や県、警察、道路管理者、バス協会などで構成する協議会設立に向けた調整を行っている。

アダプト・システム（地域里親制度）を取り入れては。

**答** アダプト・システムは、協働のまちづくりの面だけでなく、国体開催後の持続可能な環境保全活動等にも有効と考える。市民や各種団体と協力しながら、花いっぱい運動や清掃活動を推進するため、平成13年度に市民運動推進基本計画を作成し、14年度には市民運動推進協議会を設置することにしており、基本計画を作成する中で、関係団体等と連携しながら検討したい。

### 西川緑道公園 ライトアップを開始

**問** 西川緑道公園の開園二十五周年を機に、夜間でも明るく安全で魅力的な公園となるようライトアップしては。

**答** 多くの利用者の声があるため、人通りでにぎわう下石井公園近辺の川沿いを手始めに、



平成13年5月末頃からライトアップをしていきたい。

**大型広告の規制緩和で バス利用者の利便性向上を**

**問** 事業者が広告収入を赤字路線の存続や停留所の整備に充当できるよう、路線バス等への大型広告の掲示を積極的に認めるとは。

**答** 今後は美観と安全性という二つの視点を念頭に、積極的な規制へと方向転換することが必要と考える。車体全面広告等の広告収入が、赤字路線維持やバリアフリー化につながるとともに、停留所についても、側面広告の収入により、屋根やベンチが整備されるなどの効果が期待できる。屋外広告物審査会の議決を経て、市民サービス向上につながる方向性を追求していきたい。

### 委員会委員の異動

議会運営委員会

委員 土肥 啓利（辞任）

市議会広報調査特別委員会

委員 佐々木清巳（辞任）

### 会派の異動

新風会

脱会

則武伸一郎

### 次回定例会のお知らせ

6月定例会は、6月8日（金）から6月25日（月）まで開催の予定です。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

### 編集後記

木々の緑が深まり、さわやかな季節となりました。さて、2月定例会では、IT化への取り組みを初めとした市民生活にかかわりの深い重要課題に対して熱い論戦を繰り広げるとともに、その模様がケーブルテレビにより直接お茶の間にお届けできるようになりました。これからも、さまざまな広報媒体を活用し、開かれた議会を目指して取り組んでまいります。